

サーキットの進め方

- 1 ルールは、現行の（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」による。
- 2 すべてダブルス個人戦とし、5ゲームマッチとする。
※ゲームカウント2オールになった場合、5ゲーム目は4ポイント先取とする。
- 3 所定のゼッケンを着用すること。
- 4 使用球は男子アカエムボール、女子ケンコーボールとする。
- 5 試合は、濱中・桂方式で行う。
 - ① 最初の試合は、事前に指示されたコートに入る。
対戦表に学校名・氏名を記入し、自分の順番が来るまで待機する。
 - ② ベンチサイドは、対戦表の左側のペアが本部側とする。
 - ③ トスはじゃんけんのみとし、勝ったペアがサーブ又はレシーブを選択する。
 - ④ 試合前の乱打は1本とする。
 - ⑤ 1面で2試合同時進行で行う（1ポイント交替制）。
 - ⑥ 試合が終わったら、勝者が対戦表に試合結果を記入する。
 - ⑦ 試合後は勝ち上がり、負け下がり方式でコートを移動する。
※勝者は小さい番号のコートへ、敗者は大きい番号のコートへ移動する。
- 6 次のコートに移動したら、対戦表に学校名・氏名を記入し、自分の順番が来るまで待機する。
- 7 審判は、セルフジャッジ（試合をしている選手が審判をする）とし、カウントはサーバーがコールする。
- 8 ベンチへの入場は選手のみとする。
- 9 予め申し込んだペア数の範囲内であれば、選手を入れ替えてもよい。
例：7人いる場合は、3ペアで交替しながら試合を行う。
- 10 休憩時間や昼食時間は、ペアで相談して決めること。
※休憩する場合は、次の対戦表に記入しないこと。
※休憩後は、休憩前の試合結果によるコートに入ること。

対 戦 表

第 コート

	学校名	選 手 名	結 果	学校名	選 手 名
記 入 例	秋田中	秋田 太郎	③ - 1	青森中	弘前 三郎
		雄和 次郎			青森 四郎
1			-		
2			-		
			-		